

経営比較分析表（令和5年度決算）

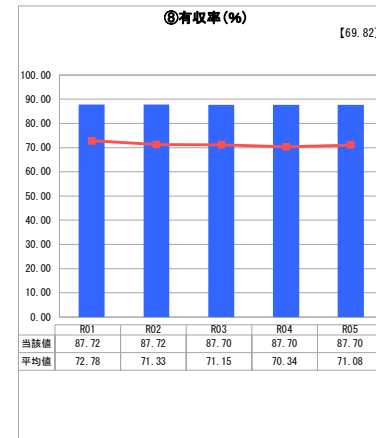
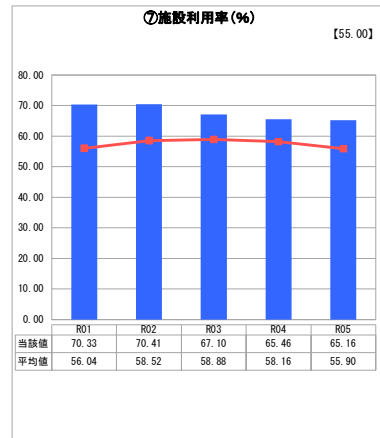
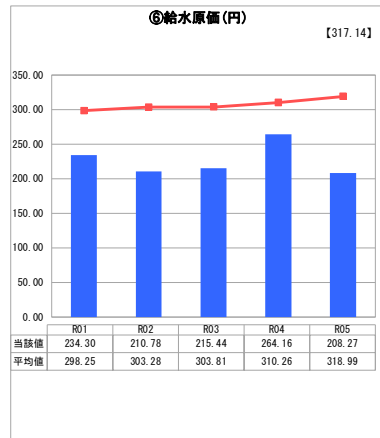
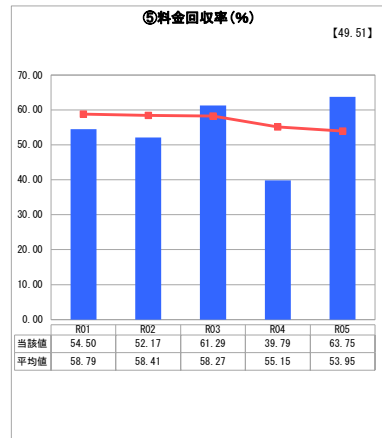
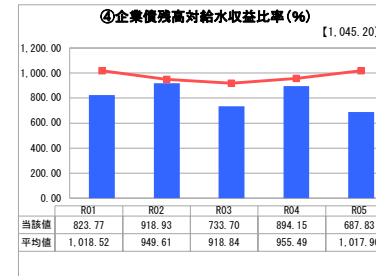
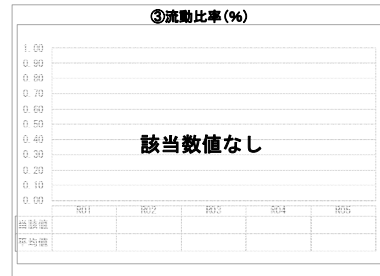
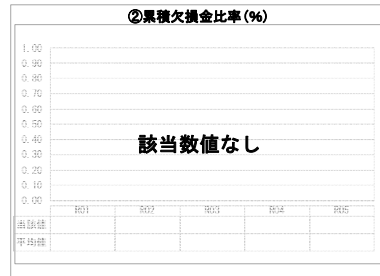
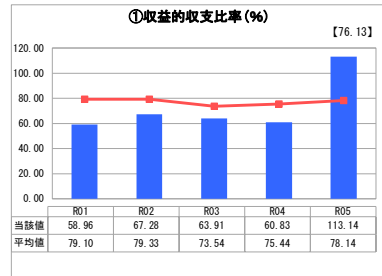
宮崎県 美郷町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	87.73	2,442	

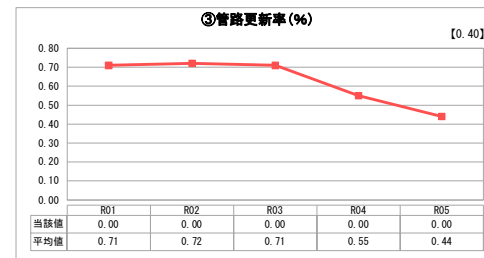
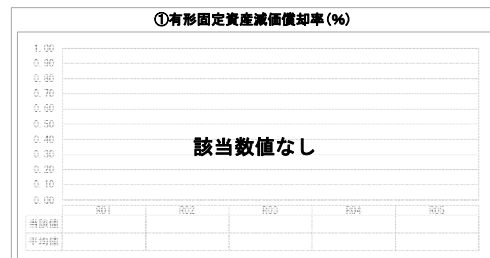
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,677	448.84	10.42
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
4,047	21.75	186.07

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は113.14%となるが、公営企業会計移行に備え基金を取崩したことによる増加となっている。費用面も公営企業会計移行による打切決算により経費が減少となった事で、前年度との比較検討が難しい。

④企業債残高対給水収益比率は、類似団体と比較して低い数値となっているが、施設の老朽化も進んでいる状態に変わりなく、適切な料金収入の確保が出来ていない。高齢者世帯の増加や人口減少でこれ以上の料金引き上げは難しいが、料金見直し等も視野に入れ、更には経費削減にも努めなければならない。

⑤料金回収率は63.75%と昨年度と比較して、上向きではあるが、給水収益以外の収入で賄われている状態に変わりなく、適切な料金収入の確保が出来ていない。高齢者世帯の増加や人口減少でこれ以上の料金引き上げは難しいが、料金見直し等も視野に入れ、更には経費削減にも努めなければならない。

⑥給水原価は類似団体と比較して低い数値で推移しているが、引き続き人口減少を見据えた維持管理費の削減に取り組んでいかなければならない。

⑦施設利用率は類似団体と比較して高い数値で推移しているが、人口減少が加速するに伴い低下していくと推測され、ダウンサイジングも視野に入れ維持管理を行っていく必要がある。

⑧有収率は全国平均と比較して、高い数値で推移しており、今後とも漏水等の原因を早期に特定し、有収率の向上に努めていかなければならない。

2. 老朽化の状況について

③令和6年度からの公営企業会計法適用化を向け、固定資産の整理を行った。耐用年数を超過している管路もあり、施設数も多く、老朽化も進んでいる為、今後は老朽化の状況を見極めて計画的に更新を行っていかなければならない。

全体総括

管理している施設数が多いが、人員が少ないため、維持管理の多くを外部委託している。そのため人件費が上がると維持管理費に影響するため、今後維持管理費を削減していくことは難しいと推測される。令和6年度から公営企業会計法適用化へと移行するが、他会計からの繰入金なしでは経営が出来ない状況は続くと思われ。経営戦略を改定するとともに、水道料金の見直しも含めてさらに厳しく経営改善に取り組まなければならない。